

るため地組委員会を興ひとれ。

二 支部、班の問題

支部、班は入会同年の基礎をなすものである、支部は一町村を單位として其の下に班を置き、支部委員会が之を統制するのであること、に於て部落内に於ける諸活動と結びついて我々の方針が具体化されるべきならぬのである。

三 青年部の確立

運動の討究と訓練部隊の育成は青年に俟たねばならぬ、二行半抹殺、

更に農民運動の場面に於いては宣傳、運動の訓練部隊、争議中に於ける連絡、動員、偵察等てまたこれに俟たねばならぬ。斯かる重要なる任務を遂行するための組織たる組織が青年部の育成である。青年部の全般的組織こそ聯合會の主体をして常に躍進せしめ

る原動力たり得るものである。

四 婦人部、少年部の確立

全線の教育とその職員のために、少年部、婦人部の育成は特に重要事項である。、、、以下六行抹殺、、、、更に我々は置所を守る婦人を救へ味を敵討つて斬らしき知識へ、戦線へ出す訓練せねばならぬ。婦人は感情的であり、ひたむきである。統率ある指導が備わらぬ幹部に依つて決行されるならむしる男子より勇敏なる聯合が多々ある。我々はこれを科学的に訓練し組織する必要を充分認識してゐる。當然聯合會は之が具体化についていそしまねばならぬ。

昭和十年年度決算

聯合會が本部活動の原動力となることは判り切つたことであるの